



わらび座ミュージカル

「リキノスケ、走る!」が開幕

秋田県生まれの篤農家・農業技術指導者で「聖農」と称えられた石川理紀之助の生涯を語る、わらび座ミュージカル「リキノスケ、走る!」が開幕しました。

ここで主人公・石川理紀之助役を演じているのが、三種町鹿渡出身の舞台俳優である近藤真行さん。近藤さんは、この舞台を最後にわらび座を退団するとの事であり、その勇姿も今回が見納めということになります。

3月には三種ミュージカル実行委員会主催による観劇ツアーが予定されています。この機会に参加いただき、笑いと涙、そして感動の舞台をお楽しみください。

場面は、理紀之助が師と仰いだ高橋正作（雄勝郡小野村）との出会いから始まります。そして、「農民を救えるのは農民だけだ」と、貧農救済と農家への経営指導に没頭する理紀之助。そんな中での長男の死。68歳で取り組んだ大仙市九升田の救済事業での苦悩と困難など。失敗しても決して諦めず、悩みながらも自分の思想を貫いて人生を駆け抜けた姿を伝えます。

役者3人が複数の登場人物をこなし、歌と踊りがちりばめられた世界は、あっという間に感じられる80分間。役者の表情が間近に見え、舞台の早変わりや照明・音響の演出で、自分が観客であることを忘れ、物語の中に引き込まれます。そして、今の私たちが大切にしていかなければならないものは何か、近藤さん演じる理紀之助の言葉が、きっと皆さんの心に響くはず。この公演は3月20日まで上演しています。奮ってご鑑賞ください。



主演の近藤さんにインタビュー



近藤 真行

三種町鹿渡出身。
ひとくせあるヒューマンな役柄を得意とし、秋田弁コメディ「ぶろぼーず」康志があたり役となった。民謡でもいいノドを聴かせ、三味線も得意とする。

Q 今回の舞台の見所についてお聞かせください。

A 今回、師匠高橋正作の役もやります。理紀之助との共通点や違いなど演じていてとても面白いです。演じ分けをご堪能ください。

Q わらび座を退団されるとの事ですが。

A ふるさとが恋しくなったので実家に住むことに…。仕事をいただけるならば今後も役者は続けていきたいと思っています。

Q 三種町に対し何かメッセージを。

A 何もない町だ…と言う方もいるでしょうが、全国津々浦々公演してきて思うのですが、ここはとんでもなく良いところだ、と。何よりも魅力的な人が沢山いる。私がふるさとに帰りたい、と思った一番の理由です。

近藤真行さん(三種町出身)主演 わらび座観劇ツアーのお知らせ



◆募集人数 30名(先着順・町民バス)

◆日程 3月20日(木) 千秋楽
八竜～山本～琴丘経由で
わらび座へ

◆参加費 3,000円(個人負担)

◆申込み・問い合わせ先
三種ミュージカル実行委員会
TEL 090-8926-0029(岩谷)
TEL 090-2276-2668(田中)

◆募集締切 3月10日